

7月校長講話 要旨

○「情けは人のためならず」ということばを知っていますか。

若者を中心にこの言葉を「情けをかけることは、結局はその人のためにならない（のすべきではない）」という意味だと思っている人が多いようです。「情け（親切）は人のためではなく、いずれは巡って自分に返ってくるのであるから、誰にでも親切にしておいた方が良い」というのが正しい意味です。間違いを避けるため、「情けは人の為ならず 巡り巡って己が（自分の）為」というように後ろを補う言い方もあります。

2010年の文化庁による「国語に関する世論調査」では、この語を正しく理解しているもの45.8%と、誤用しているものは45.7%とほぼ同数だったという結果でした。

6月の下旬の夜8時ごろ、下校途中の本校生徒が、高齢の女性が道に迷っているようなので、声をかけたところ、様子がおかしかったので、その生徒の自宅で保護をして、警察に連絡したところ、徘徊していた高齢者であることが分かり、無事保護されました。このことで牛久警察署から感謝状の表彰を受けることになり、先日本校校長室で牛久警察署長から表彰されました。

こういったことに限らず皆さんは思いやりの気持ちや、優しい気持ちを持って周りの人たちに接して行動してください。

皆さんは思いやりの気持ちや、優しい気持ちを持って周りの人たちに接して行動してください。

現在、多くの地域社会では様々なボランティア活動が行われています。ボランティア活動も他の人のために活動するのではなく、最終的には、いろいろな意味から自分のためになることとなります。お互いのことを思いやって行動することは、「情けは人のためならず」の本来の意味になると思います。どうか思いやりの気持ちを忘れないでください。

○自由と放任

福沢諭吉の『学問のすゝめ』のなかに「自由と我儘（わがまま）との界（さかい）は、他人の妨げをなすとなさざるとの間にあり」という言葉があります。「自由と我儘の違いは何かというと、他人の邪魔をするかしないかの違いである」という意味です。

自由とは他の人に対して妨げをしないこと、邪魔をしないこと、迷惑をかけないことです。それに対して我儘とは他の人の邪魔をすること、迷惑をかけることです。

自由を意味する英単語に、Freedom Liberty があります。

その違いですが、フリーとは「最初から自由な状態であること」。例えば「野生（野生動物）」はborn-freeです。それに対しリバティであるというのは「不自由な状態から解放されたこと」といいます。もともと自由なのか、自由な状態にする、自由な状態になったのかという違いがあるということのようです。そのまま放任の自由と、勝ち取った「自由」という違いにもなります。

作家下村湖人の言葉に、「自由とは完全に無拘束の状態に置かれているのではない。自然と人生との厳しい拘束の中であって、たえず自己を創造する力を確実に保有することである」

このことは、フリーダム・放任ではなく、拘束の中、制約されているなかで自分自身を高めていくために自由があると言っています。「自由」と「勝手気まま・我儘」を取り違えないでほしいと思います。我儘は人の迷惑になります。一部の人がある自分の自由だということを理由に周りの人たちに迷惑をかけることがあるかと思えます。そのことをよく自覚して行動してほしいと思います。

加えて、武者小路実篤の言葉には、「他人の位置に時々自分を置き、自分の位置に他人を置き、他人の気持ちを察し、小我（しょうが＝些細な自分の都合という意味）をのさばらすな」他者への思いやる気持ちをもつことや、相手のことを考えて我儘なことを考えずに行動してほしいと思います。

○夏休みに向けて

「有志竟成」（ゆうしきょうせい）。

この言葉は、今から5年前の2018年のノーベル医学生理学賞を受賞した京都大の本庶佑（ほんじょ たすく）特別教授の座右の銘であり、ストックホルムのノーベル博物館に寄贈した色紙に書かれた言葉です。「有志（志あれば） 竟成 竟に成る（ついに成る）」と読み、志ある者は、物事は竟に成る。

本庶先生の言葉では「志がしっかりしていればいつかは実現できる」という意味です。

有志竟成。最後まで粘り強く志、夢の実現を目指して頑張りましょう。夢や志を実現するためには、血のにじむような努力や練習、勉強が必要な場合があります。

学習と勉強は同義語のようですが、違いがあるようです。学習という漢字は「学んで習う」と書きますが、「まなぶ」という意味はまねぶ、真似をするところから生まれたともいわれています。教えを受けたり、上手な人の行動、様式、言動等を、真似をしたりするところから成長するとも言われます。習うについても、「模倣」という漢字の倣一ほう・ならうと同じような意味があるようです。ならう - 手本としてまねるという意味もあります。つまり、学習とは、上手な人や手本をまねるところから始まるようです。

そして学習とは繰り返し学ぶ、習う必要があります、そのためには勉強です。勉強という漢字は「勉めて強いる」と読みますが、辞書で調べてみると、意味するところは、努力をして困難に立ち向かうこと。熱心に物事を行なうこと。励むこと。または、気が進まないことを仕方なしにすること。ともあります。反復練習のみが技術の向上をもたらすということは、運動部の人や楽器などを扱う人にはよくわかることと思います。

したがって、学習や勉強は、気が進まないけれど、その先に習得できるものは大きいということです。学ぶ楽しみとは、最初は大変だけど、最後に得るものは大きいと思います。ぜひこの意味を考えてこれから勉強してください。そして夢を実現できるようにしてください。

では皆さんの夢や志は何でしょうか？まもなく夏休みが始まります。夏休みには長い時間が取れる人も多いでしょう。その時間の中で考えること、また、部活動などで夢の実現に向けて継続して努力をする人も多いことでしょう。

「継続は力なり」このことを信じて努力を続けてください。

そうすれば「有志竟成 志あれば 竟に成る」

英語で言えば It's a dream come true.

皆さんにとって有意義な日々となる夏休みを送ることを願っています。